

# 研究助成など12件

## 北國がん基金、総額810万円

### 9月に贈呈式

公益財団法人北國がん基金の理事会は24日、金沢市の北國新聞会館で開かれ、

第34回北國がん基金の助成対象として、研究活動助成部門に10件、海外派遣・国内研修等助成部門と啓発活動助成部門にそれぞれ1件

の計12件に総額810万円を贈ることを決めた。内容は別表の通りで、9月に贈呈式が行われる。北國がん基金の助成に

は、石川県内の大学、病院、関係団体から推薦や応募があり、選考委員会と理事会で研究内容などを審議した。

事業計画では、贈呈式に合わせて、がんの早期発見・治療の啓発を目的とした市民公開講座の開催や、9月の「がん征圧月間」に協力することを決めた。

### 研究活動助成部門

【がん発症・進展におけるキラルアミノ酸の意義解明ならびに新規バイオマーカー・治療シグナルの探索】  
200万円 中出祐介（金大附属病院検査部臨床検査技師長）  
【肝がん微小環境の研究基盤の確立と新規免疫治療標的の探索】  
100万円 村居和寿（金大医薬保健研究域保健学系助教）  
【液状化検体細胞診法を用いたがんの分子病理学的検査への応用に關する研究】  
100万円 佐藤妃映（北陸大医療保健学部准教授）  
【TGFβが活性化する細胞膜リン脂質代謝カスケードを標的とした

血管新生阻害療法の開発】  
50万円 安藝翔（金大医薬保健研究域医学系血管分子生理学助教）  
【炎症性がん微小環境の形成におけるカスパーゼ1依存性細胞死の役割の解明】  
50万円 土屋晃介（金大がん進展制御研究所免疫炎症制御研究分野若手PI・助教）  
【胆管がんの代謝特性と免疫応答に着目した新たな治療戦略の確立】  
50万円 山村美奈子（金大医薬保健研究域医学系人体病理学助教）  
【北陸発再生医療等製品：ネオ抗原を標的としたIFNγ樹状細胞を用いた個別化がんワクチン開発】  
50万円 下平滋隆（金沢医科大学再生医療学教授）

### 海外派遣・国内研修等助成部門

【腹部間葉系悪性腫瘍におけるZFP57の機能解析】  
50万円 高村博之（金沢医科大学一般・消化器外科学臨床教授）  
【抗酸化酵素ペルオキシレドキシン（PRDX）4は、肺がんに対する生体内防御機構に寄与する】  
50万円 山田壮亮（金沢医科大学臨床病理学教授）  
【高齢がん患者の治療選択における簡便な評価ツールの開発】  
50万円 辻国広（県立中央病院腫瘍内科医長）木藤陽介（同腫瘍内科医長）宮島沙織（同消化器内科医員）

### 啓発活動助成部門

【がんサバイバーのために、「お灸のセルフケア」を医療従事者と共に学ぶ場をつくる】  
30万円 岩橋麻子（金大附属病院漢方医学科技術補佐員）白井明子（同漢方医学科医員）小川恵子（同漢方医学科特任准教授）